

1997年に発表された書籍・論文

- 伊藤進、「空中に起こる一切の奇怪な現象 -ロンサールにおける空の眩惑-」、『ロンサール研究』（日本ロンサール学会）、10特別号、1997年9月、pp.195-223
- 伊藤進、「フランス・ルネサンスの驚異」、『私学研修』（私学研修福祉会）、147・148号、1997年12月
- 井上登、「Montaigneの〈自己記述〉の真实性と有効性」、『Etudes Françaises』（早稲田大学）、4号、1997年3月、pp.1-16
- 井上政巳、「研究ノート：「カルヴァン全集」今昔」、『キリストと世界』（東京基督教大学）、7号、1997年3月
- 岩井俊一、「ルフェーブル・デターブルのキリスト教観」、『仏語・仏文学論集』（上智大学）、31号、1997年3月、pp.1-11
- 海堀勲、「モンテーニュ「経験について」の作品構成」、『大阪商業大学 論集』、109号、1997年3月
- 江口修、「瞬間と永遠 -ロンサールの詩的時間構造-」、『ロンサール研究』（日本ロンサール学会）、10特別号、1997年9月、pp.225-239
- 延味能都、「『恋愛詩集』（1552）と『続恋愛詩集』（1555）におけるapostrophes「呼びかけ」について」、『岡山大学 文学部紀要』、27号、1997年7月、pp.221-235
- 近江吉明、「L'Evolution de l'étude de la révolte populaire en France à la fin du Moyen Age」、『専修大学 専修人文論集』、60号、1997年3月、pp.1-14
- 近江吉明、「民衆蜂起にみる「変革主体」の形成 -フランス中世後期を事例として」、『歴史評論』、564号、1997年4月、pp.74-88
- 大橋寿美子、「ロンサールの詩と音楽」、『同志社女子大学 総合文化研究所紀要』、14巻、1997年3月、pp.63-94
- 荻野アンナ、「ラプレーのスカト・ロジック -『ガルガンチュワ』第13章翻弄訳試案」、『慶応大学 芸文研究』、72号、1997年6月、pp.231-248
- 川那部和恵、「フランス15・16世紀の「阿呆の王国」 -世俗劇生成現場の文化と精神」、『筑波大学 外国語教育論集』、19号、1997年3月
- 木ノ脇悦郎、「エラスムスのExequiae Seraphicae(1531)について（翻訳）」、『関西学院大学 神学研究』、44号、1997年3月
- 久保みゆき、「シャシニエとセネカ -『生の軽蔑と死への慰め』と『書簡集』の比較」、『明治大学 文学研究論集』、6号、1997年2月、pp.57-73
- 久米あつみ、『カルヴァンとユマニスム』、御茶の水書房、1997年12月
- 黒沢恵美子、「ルーアン美術館蔵『ディアナの水浴』におけるディアナとウェヌスの二重性についての一考察」、『明治大学 文学研究論集』、6号、1997年2月、pp.75-88

- 小島久和、「モンテーニュの「友情について」を読む」、『明治大学 文芸研究』、77号、1997年3月
- 斉藤広信、「モンテーニュ『旅日記』のテキストに関する覚書(下)」、『日本女子大学紀要 人間社会学部』、7号、1997年3月、pp.199-212
- 杉下文子、「アンリ・ワロンの教育思想に関する一考察 -ワロンの「ラプレーの教育」の解釈を通して-」、『慶応大学 社会学研究科紀要』、44号、1997年3月
- 鈴木教司、「フランス売官制の消長(7) 司法官職を中心にして」、『愛媛法学会雑誌』、23巻-4、1997年3月、pp.1-32
- 鈴木教司、「フランス売官制の消長(8) 司法官職を中心にして」、『愛媛法学会雑誌』、24巻-1、1997年7月、pp.1-26
- 鈴木教司、「ヴァロワ期パリ高等法院の社会経済面と司法運用(1) 売官制との関連(1の1)」、『愛媛大学 法文学部論集 総合政策学科編』、3号、1997年8月、pp.1-23
- 鈴木教司、「フランス売官制の消長(9) 司法官職を中心にして」、『愛媛法学会雑誌』、24巻-2、1997年9月、pp.1-30
- Jean CEARD、「Ronsard, le sommeil et les songes」、『ロンサール研究』(日本ロンサール学会)、10特別号、1997年9月、pp.29-53
- 高田勇、「ロンサールの作品における驚異と不合理 -樹木崇拜-」、『ロンサール研究』(日本ロンサール学会)、10特別号、1997年9月、pp.165-193
- 高橋薫、「フランス16世紀読書報告(1996)別巻」、『仏語仏文学研究』(中央大学)、29号、1997年3月、pp.1-209
- 玉井実、「16、17世紀フランス「理神論」の動向 -ヴァレーの霊知とメルセンヌ時代の匿名詩-」、『東京工芸大学 工学部紀要』(人文・社会編)、19巻、1997年1月
- 筒井伸保、「L'influence de Montaigne sur le théâtre de Molière」、『フランス文化研究』(独協大学)、28号、1997年3月、pp.47-67
- ナタリ・Z・ディヴス、「16世紀フランスにおける贈与と賄賂」、『思想』、880号、1997年10月、pp.63-77
- Jean-Claude TERNAUX、「Voicy d'en haut des signes apparens. Le merveilleux dans la Franciade」、『ロンサール研究』(日本ロンサール学会)、10特別号、1997年9月、pp.55-70
- 中村浩巳、「ファランの痙攣派についての資料(6) 「ノストラダムスの予言」(前半)」、『日本大学 総合文化研究』、3巻1号、1997年6月
- 中村浩巳、「ファランの痙攣派についての資料(7) 「ノストラダムスの予言」(後半)」、『日本大学 総合文化研究』、3巻2号、1997年11月
- Jerry C. NASCH、「Les créations et le rôle du merveilleux dans la poésie amoureuse de Ronsard」、『ロンサール研究』(日本ロンサール学会)、10特別号、1997年9月、pp.1-13

西村美穂、「ラブレ 『第3之書パンタグリユエル物語』のシンメトリー構造 -パンタグリユエルとパニユルジュの行為分析」、『明治大学 文学研究論集』、7号、1997年9月、pp.29-44

濱田明、「L'édition de 1580 des *Premières Œuvres de Philippe Desportes*」、『熊本大学 教養部紀要（外国語、外国文学編）』、32号、1997年1月、pp.133-149

Jean BALSAMO、「Note sur l'Elésie à Bartolomeo Delbene Florentin」、『ロンサール研究』（日本ロンサール学会）、10特別号、1997年9月、pp.145-163

平手友彦、「仏訳『デカメロン』研究I -ローラン・ド・ブルミエフェ、翻訳者又は教訓家-」、『名古屋短期大学 研究紀要』、35号、1997年3月、pp.93-117

Takafumi HIRANO、「Jean Wier: précurseur de libres penseurs?」、『フランス文学論集』（青山学院大学）、6号、1997年、pp.1-30

平野隆文、「悪魔のいるルネサンス 1-6）、『ふらんす』（白水社）、1997年7～12月号、各号 pp.24-27

平野隆文、「「カナール」（瓦版）に於ける悪魔の表象（16世紀末～17世紀初頭） -分類の試み：伝統的表象から断絶へ-」、『フランス語フランス文学研究』（日本フランス語フランス文学会）、71号、1997年10月、pp.14-23

Anne-Pascale POUHEY-MOUNOU、「Deux réécritures par Ronsard du XV^e livre des *Métamorphoses*: le mouvement du temps」、『ロンサール研究』（日本ロンサール学会）、10特別号、1997年9月、pp.119-144

Yvonne BELLENGER、「Le temps de l'amour dans les poèmes adressés à Genève」、『ロンサール研究』（日本ロンサール学会）、10特別号、1997年9月、pp.87-106

Pierre MARECHAUX、「La raison du poète: la syncrétisme selon Ronsard dans les *Amours de Cassandre*」、『ロンサール研究』（日本ロンサール学会）、10特別号、1997年9月、pp.15-27

宮下志朗、『ラブレ周遊記』、東京大学出版会、1997年1月

Daniel MENAGER、「Les Odes vendômoises et le temps」、『ロンサール研究』（日本ロンサール学会）、10特別号、1997年9月、pp.71-86

François ROUDAUT、「Quelques remarques sur la question du présent éternel dans les *Sonnets pour Hélène*」、『ロンサール研究』（日本ロンサール学会）、10特別号、1997年9月、pp.107-118

G.ルノートル、幸田礼雅訳、『ナントの虐殺』、新評論、1997年10月

渡辺一夫、『フランス・ルネサンスの人々』、白水社、1997年10月